

パラレル クロッシング エキシビジョン3  
おもかげおこしふくわらひ

徳島県内の知的障がいがある人たちと、アートの現場の最前線で活躍中の現代美術家が協働する展覧会が今年度、徳島と京都で開催されました。関西を拠点に活動を続ける、今村源、三嶽伊紗、日下部一司、井上明彦の4人のアーティストが展覧会の構成を描き出し、障がいがある人たちは展覧会開催まで、かけがえのない作品づくりを日中活動として続けました。



徳島

2018/10/31-11/4  
近代美術館ギャラリー  
今村源さん撮影



京都

1/10-27  
art space co-jin  
日下部一司さん撮影

この活動は非常にユニークなものです。障がいがある人たちが当代きってのアーティストとワークショップを通じてふれあい、アーティストたちの構想を踏まえて制作を続けることで展覧会開催まで並走し、アートに関わる楽しさやその目当て、内容をやさしくほくして伝える「アート・メッセンジャー」としての役割を堂々と担っているからです。



阿南市制施行60周年記念事業

アートでつくる

心ゆたかな共生社会

障がい者のアートによる取り組みを紹介します

本市は、障がいのある人もない人も共生できる社会の実現に向けて取り組んでいます。このたび、市内の多くの企業等や社会福祉法人、悠林舎のご理解とご支援をいただき、障がい者のアートによる取り組みを紹介する「アートでつくる心ゆたかな共生社会」を市役所庁舎で開催します。人間の温もりにあふれた展示空間をご体感ください。

期間 3月1日(金)～15日(金)  
平日 9:00～18:00  
土日 9:00～17:00

場所 市役所庁舎1階 多目的スペース  
(正面玄関入って右側)

入場無料・申込不要  
問い合わせは 福祉課 (☎22-1592) へ

本市は、「すべての市民が障がいの有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重しながら共生する社会の実現」をめざし、第5期阿南市障害福祉計画、また新たに第1期阿南市障害児福祉計画を策定し、さまざまな福祉サービスによる支援を行っています。これらの計画の推進にあたり、障がい者の雇用促進をはじめ、障がい者支援施設等の障がい児・障がい者ハンディキャップのある子どもたちやそのご家族、子育て世代など、市民の誰もが笑顔でいきいきと過ごせる社会を実現するためには、障がいがあることの現実を当事者から聞き、

学び、一緒に考え、相互コミュニケーションによって理解を深め、共生社会を推進することが重要であると考えています。

平成30年度は計画の実施開始1年目で、阿南市制施行60周年にあたることから「障がいのある人もない人も地域で安心して暮らせる社会づくり」の新たなスタートの年度と位置づけています。また、2020年東京パラリンピックに向けて障がい者活動の機運を高めていくため、「アートでつくる心ゆたかな共生社会」を開催します。開催場所は、行政サービスの拠点で、市民が憩い集う市役所庁舎1階市民交流ロビーの「多目的スペース」です。

多くの市民の皆さまに訪れていただき、「見ること」「感じること」「イメージすること」などを通して、障がいに対する新たな気づきや、感覚を養い、理解を深めていただきたいと考えています。

今後も障がいのある方や、障がい者等の支援機関の皆さまをはじめ、すべての市民の皆さまとともに、共生社会に向けた取り組みを広く実践・発信していきます。